

科目ナンバー	EDU-1-029-j			科目名	図画工作概説		
教員名	本多 正直			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	図画工作概説は、図画工作が初等教育にとって非常に重要である意味を理解しその内容を把握するために演習をもとに学んでいく授業である。具体的な図画工作の教材を使用し制作体験しながら、教材のより深い知識を身につけることをねらいとする。学習指導要領を基に、A表現、B鑑賞の内容を考慮し、ネームレタリング、発達段階による絵画表現、陶芸、木工パズル、鑑賞の内容をICT機材や工具などの使用方法を交えた講義と演習によって学ぶ内容である。						
到達目標	小学校における図画工作の意義を理解した上で、学習指導要領に沿った実践的な指導内容に伴う知識と技術を身につけてもらいたい。各課題ごとのまとめによって、授業の進め方も含めて深く学び実践できるようにしてほしい。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		○	伝え合う力	分析し、思考する力	
共生のための態度		自己を抑制する力			協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性		○	関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法		講義とその内容に沿った演習により授業を進める。学生個々により理解度や進度にも違いが出るので机間指導により一人一人の理解度や制作内容を見て対応する。それぞれの制作ごとに、個々で課題が生じてくるが、いかにすれば解決できるかを学び、児童への指導に活かす。また、課題ごとに振り返りを行い、技法や表現が定着できるようにしていく。					
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目		小学校教員免許を取得希望の学生。					
アセスメントポリシー及び評価方法		受講態度、課題提出(レポートも含む)、課題ごとに作品を提出してもらい、制作姿勢と積極的な参加姿勢を総合的に評価する。取り組み姿勢50%、課題作品内容、スケッチブックの内容50% 「共愛12の力」の分析し思考する力、構想し実行する力、自己を理解する力、実践的スキルを特に評価の対象とする。					
教材		小学校学習指導要領解説 図画工作編 F4のスケッチブックは各自が必ず用意をしてくる。陶芸粘土、釉薬等、木工パズル用教材、八つ切り画用紙、水性絵の具等は大学で用意する。各教材や講義内容のプリントは、その都度配布する。					
参考図書		美術教育概論 日本文教出版 (大橋功)図画工作教科書					
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容		授業の概要説明 初等図画工作の重要性小学校学習指導要領第2章各教科第7節図画工作の内容の再確認(初等教科概説で学習した内容の振り返り)					
授業外学修内容		特別教科概説で学習した小学校指導要領を読み、内容を把握してくる。				時間数	2
2週目							
授業学修内容		幼児の発達と造形表現 子どもの絵画の発達段階子どもの絵画の発達段階(初等教科概説で学習した内容の振り返りも含めてリードの発達段階について学ぶ)ICTによる講義					
授業外学修内容		幼児の発達と造形表現についてのまとめをする。				時間数	2
3週目							
授業学修内容		ネームレタリング(スケッチブック)具体例と教材としての提示。アイデアスケッチを考える。					
授業外学修内容		ネームレタリングのアイデアスケッチを行う。次回授業ですぐに制作に取り掛かれるようにする。				時間数	2
4週目							
授業学修内容		ネームレタリング(スケッチブック)下書きと彩色仕上げネームレタリング教材のまとめをする。					
授業外学修内容		制作が終わらない学生は、ネームレタリングの着色をおこなってくる。				時間数	2
5週目							

授業学修内容	陶芸『たたらづくりでコーヒーカップを作ろう』陶芸の基礎知識および作品制作陶芸粘土によるたたらづくり教材を学ぶ(小学校学習指導要領第2章各教科第7節図画工作第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い2(2))		
授業外学修内容	たたらづくりのまとめプリントを完成させる。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方を解説)(小学校学習指導要領第2章各教科第7節図画工作2、A表現(2)イ)		
授業外学修内容	次回授業ですぐに制作に取り掛かれるようにする。アイデアスケッチを考えて制作する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方を解説)アイデアスケッチをもとに、板に下絵を描く。		
授業外学修内容	次回授業ですぐに制作に取り掛かれるように下絵まで完成させておく。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	陶芸『たたらづくりでコーヒーカップを作ろう』施釉 素焼きの作品に釉薬をかける窯入れと窯の使用方法を学ぶ。		
授業外学修内容	施釉(素焼きの作品に釉薬をかける)についてまとめを行う。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方)ドリルで角に穴をあけ、糸のこぎりで切断を始める。		
授業外学修内容	板に転写をする工程まで終わらせる。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方)下絵に沿って糸鋸で板を切断する。		
授業外学修内容	板の切断ができるまでの工程を終わらせる。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方)木の切断下絵に沿って糸鋸で板を切断する。ペーパー掛け パーツの着彩		
授業外学修内容	板の切断作業を行う。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方)木の切断下絵に沿って糸鋸で板を切断する。ペーパー掛け パーツの着彩仕上げ		
授業外学修内容	板の裁断までの工程を終わらせる。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	木工パズル(木工用具の使い方)木の切断着彩 仕上げ		
授業外学修内容	彩色までの工程を終わらせる。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	木工パズル 着彩 仕上げ 鑑賞の授業鑑賞カードに記載し発表する。(小学校学習指導要領第2章各教科第7節図画工作2、B鑑賞(1)ア)		
授業外学修内容	鑑賞授業のまとめを行う。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	図画工作概説のまとめ 作品講評会(鑑賞授業の展開)		
授業外学修内容	図画工作概説のまとめを行う。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		24	
その他に必要な自習時間		66	

Number	EDU-1-029-j	Subject	Outline of Arts and Crafts			
Name	本多 正直 (Honda Masanao)	Year and Semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>The outline of drawings is a class that learns based on exercises to understand the meaning that drawing work is very important for primary education and grasp its contents. It aims to acquire deeper knowledge of teaching materials while experiencing production using teaching materials of concrete drawing work. Considering the content of A expression and B viewing based on the course of study guidance, lectures and exercises with contents of name lettering, painting expression by developmental stage, ceramics, woodworking puzzle, viewing content with ICT equipment and tools It is contents to learn by.</p>					